

## 令和5年度 第1回 奈良県公共事業評価監視委員会 議事録

1. 日時 令和5年10月30日(月) 10:00~12:00

2. WEB会議

3. 出席者(敬称略、五十音順)

- ・ 委員長 多々納 裕一
- ・ 委員 大西 正光、片野 泉、下村 由加里、西川 恵造、松野 裕、横山 直子
- ・ 奈良県 県土マネジメント部技術管理課、道路建設課

4. 議事

(1) 道路事業：一般国道308号 宝来ランプ

1) 再評価に関する説明(道路建設課)

2) 意見

(多々納委員長) 前回評価時と比較して計画交通量が5,800台少なく現況交通量よりも少ないがどういう理由ですか。

(道路建設課) 前回評価時における計画交通量は平成17年度のOD表に基づいて推計していましたが、今回は平成27年度の新しいOD表に基づいて、交通量推計を行いました。

計画交通量が減った主要な原因は、推計年次の違いや人口減少等が大きく関わっていると考えています。

(多々納委員長) 前回評価時より計画交通量が減少する中でも事業の必要性は変わらないと見ていいのかということですが、何かご意見、検討事項はありますか。

(道路建設課) 計画交通量は13,000台まで下がりますが、事業の投資効果としてどれだけ便益がもたらされるか鑑みたときに、費用便益比は一定の数字が確保できているので進めていくべき事業であると考えております。

(多々納委員長) 便益計算の結果に基づけば必要性があるということ、現時点における必要性は変わっていないという認識ですね。可能であれば、将来交通量においてもその必要性が変わらないことが分かるような資料を追加するとよりクリアになると思います。

(下村委員) 計画交通量は減っているようだが、居住者の増加により発生交通量は増える可能性があると考えている。国道308号の大阪方面行きは、飲食店やガソリンスタンドへの入店待ちの車により1車線が塞がれている。朝は西大寺エリアから国道308号へ、通勤で大阪に出る右折車が、受け入れ側の国道にスムーズにはいれないことで、かなりの渋滞を起こしている。高架下の交差点を含め、近隣住民の通行がスムーズになるということが、この資料では表現されてなかったの

は感じた。

(道路建設課) ご指摘の大和西大寺駅南口の道路は、菅原東交差点の北側につながっています。駅から生駒方面に抜けるには側道を通ることになるかと思いますが、宝来ランプの整備により一部交通が側道から高架へ転換されると推計しておりますので一定の効果は期待できると考えています。

(多々納委員長) そういったことも含めて説明がなされる方が良いと思います。

(大西委員) 大阪方面に抜けるのに、休日は特に渋滞しているので、住民にとっても通るのに結構厳しい。単なる交通量推計では見えてこない効果があると思っている。特に資料の4分から2分になった部分は、酷い時は新大宮を超えて渋滞が連なっていることもあり、通過にかなりの時間がかかり精神的にしんどい。また、平成25年に事業化されて都市計画変更が令和3年となっているが、これぐらいかかるものなのか教えていただければと思います。

(道路建設課) 都市計画変更は事業化前に行うのが一般的ですが、本事業においては、どのような構造で立体交差化を行うのが非常に重要であったため、精緻な検討を行った結果、現計画が妥当と判断し都市計画変更しております。従いまして事業化から8年後となっております。

(大西委員) わかりました。あと便益ですが、B/C 1.3について、奈良県全体にとって大阪とのゲートウェイとなるところです。事業効果としては必ず進めなければいけない生命線だと考えます。一方で、工事中の交通渋滞がかなり激しくなるだろうと予想されますので、その辺の対策をどのように考えておられるかお伺いできればと思います。

(道路建設課) 施工時においては、側道第2レーンに高架構造を設置することから現道上に施工ヤードが必要となるため、施工期間の短縮が重要と考えております。そのため、鋼製橋脚を採用するなどして施工期間の短縮を図っていきたいと考えております。

(大西委員) 工期短縮も非常に重要な対策ですが、他にもTDM、需要側のマネジメントもご検討いただければ、特に休日に車で観光客が東大寺周辺で右往左往するのが見受けられますので、鉄道等公共交通機関で来た方がいいと積極的にアピールすると渋滞緩和に繋がると思います。

(横山委員) 費用便益比ですが、前の再評価の時に比べると便益が下がり過ぎていて心配する。利用する方の必要性はわかりますが、今後便益がずっと上がっていくような見通しなど、安心できるような説明はありますか。

(道路建設課) 便益の算定は、将来の交通需要を考慮し補正しており、今後、推計を超える交通量の変化がない限り便益は大きく変わらないと考えています。事業費については施工期間の短縮を検討し、その安全費にかかる費用を抑えるなどしてコスト削減に努めていきたいと考えています。

(横山委員) 5年前の時もそのような推測でしたが、便益については間違っていたということですか

か。当時も将来のことを考えて出されたもので計算されたのですよね。これから変わっていくと心配になりますが、予想でしかないということなので説明いただくことは難しいかもしれませんが。

(多々納委員長) 補足しますと、令和 22 年の交通量を予測すると、13,000 台ぐらいまで減るのではとの推計です。令和 22 年度の人口を予測してもどうなるかわかりませんが、将来的にもっと人口が減っていたら便益がもっと下がる可能性はあります。

20 年後の将来交通量が 13,000 台ということは、それ以前はこれよりも交通量が多いだらうということですから、13,000 台であっても効果が出ることをきちっと説明したほうがよいと思います。ただ、事業が長引けばその分だけ効果は目減りするので、できるだけ早期の開通をお願いしたいということになります。

(横山委員) 私も早期に事業が完了される事が良いと思っています。

(多々納委員長) 付帯意見として早期の開通や工事の時に影響が出にくくなるような対策等、両方合わせて早急に事業進捗された方がよいと思います。

(西川委員) 先ほどの便益の話ですが、西大寺駅の南口の開発に伴って菅原東の交差点へ進入してくる車の増加も合わせて一緒に説明する資料が 1 枚でもあればよいと思います。また、委員として本事業に異存はないですが、利用者目線では高架での立体交差になると進入してくる車が迷うことが非常に多いと思います。特に第二阪奈の大阪から奈良に進入する道路の案内が不十分ではないかと思います。利用者目線からわかりやすい車の進入等の案内について標示することをご検討いただきたいと思います。

(多々納委員長) 大変重要なお指摘だと思います。完成後もそうですが、施工中も含めてご検討いただきますようにお願いします。

(松野委員) 高架側から第二阪奈へ直接入れればと思っていましたが、実現できることで何らかの良い効果が期待できるのではないかと思います。初めて通ると非常に混乱しやすいのでしっかりと標示いただきたい。

事業費は前回評価時と今回で変わりがない前提ですが、安全性を考えた場合当初計画よりももっとコストが上がってくる等、他の要因では人件費等が最近上がっているのも、これで収まるのかというのが非常に気になるところです。予測するのは難しいかもしれませんが何か説明できることはありますか。

(道路建設課) 今後の事業費ですが、将来の物価変動を予測することは困難であるため考慮しておりません。今後も新技術を取り入れながら早期完成を目指します。

(多々納委員長) 効果が出ることは大事ですが、後から見て 1.0 を下回っても、現時点において一番良い選択になっていれば良いと思います。事業が変更できるなら別ですが、そうでなければ残事業で 1.0 を超えていれば効率性が確保されると考えて結構だと思いますのでご検討いただければと思います。

費用高騰も他の事業の委員会等で聞くと、2、3割ぐらいの増額があるようで、1.3 という数字は将来的には心配になる状況ではあります。比較的効果が担保される間に、早期開通がなされることを住民も望んでいるでしょうから、そのことを念頭に置いて進めるのが良いと思います。よろしくご検討ください。

全体を通じて計画交通量が減っているという観点、一方で減る要因だけではなく再開発による交通量の増加も反映されているのかという議論もあり、それらを踏まえた上で、この事業の必要性が将来的に担保できるかどうかについては補足できる資料をご準備いただき、追加的にホームページ等で公開いただくのが良いかなと思います。

事業の進め方で施工中に関してですが、交通混乱等が発生しやすいので、その対策をご検討いただき、施工前、施工中、開通後も含めて、案内標示等々を工夫して、交通混乱がないようにしていただきたい。

費用等については前回評価時から据え置いているが、これは将来的に上昇する可能性はあります。次回の再評価があるようでしたら、その際には反映いただいて議論をしたいと思います。以上となりますが、抜け等ありましたらご指摘いただければと思いますがよろしいですか。

(各委員) ー異論無しー

(多々納委員長) 皆様方のご意見、ご反対はないように思いましたが、むしろ早期の完成というものを進め、考えていただきたいという意見でしたので事業は継続とさせていただきたいと思います。その上で今の留意点等をきちんと反映いただいて事業を進めていただくようにお願いします。

### 3) 意見集約

留意点を反映させて事業継続とする。